

逆境を明るく乗り越える

モーニングセミナー

今日一日、朗らかに
安らかに、喜んで
進んで働きます。

<制作・著作>
新居浜別子倫理法人会
TEL 0897-65-1644
FAX 0897-65-1644
beturin@mx82.tiki.ne.jp

感謝を灯りに進む道

夢を目指して明るく努力



「無言館展で見た若き芸術家最期の絵は私の転機になりました」と語る村上彩子講師



「夢かぎりなく、斉唱
丸山幸男会長挨拶
「行事が続き
ますが頑張りますよ！」
誓いの言葉 原寿也副会長
連絡事項 坪井利勝事務局長
近藤啓也新入会員スピーチ「初めて参加、学生と
社会人のギャップを乗り越えて頑張ります！」
六子女名優
万人幸福の乗船誌
丸山幸男会長挨拶

出た答えはたとえ同じであ
っても、最短コースを何の苦
もなくさつと進み、それほ
ど記憶に残ることもなく簡単
に得られた結果と、一見して
大変だと尻込みするような曲

逆境をチャンスに

がりくねった茨の道を、コッ
コツと脂汗を流しながら歩
み、たいへんな苦勞の末によ
うやく勝ち得た結果とでは、
その「重さ」という観点にお
いて、天と地ほどの極端な開
きがあります。
出来れば苦勞は避けたいと
無意識に楽な方の道を選択し
たがるのが、人間の常。
しかし、その成果の重さを
人だけが、逆境をチャンスに
変えられるのですから。
苦しく辛い思いを経て来た
れませんが、敢えて辛く苦し
い道を通り抜けたら、歩む
のも一つの貴重な選択肢。
苦しく辛い思いを経て来た
れませんが、敢えて辛く苦し
い道を通り抜けたら、歩む
のも一つの貴重な選択肢。

平成二十四年七月四日午
前六時から第三百六十五回
モーニングセミナーが開催
され、香川県小豆島準倫理
法人会、村上彩子氏を講師
に「感謝を灯りに進む道」
と題し講演頂きました。
私は広島県の神辺町出
身。父親は数学、母は美術
の中学校教師。教育一家に
生まれ、高校卒業まで門限
も厳しくテレビも見ない厳
格な環境で育ちました。
大好きだった祖母は歌が
好きで、その影響を受けた
私も歌が大好きで、クラブ
は吹奏楽部に入り、ピアノ
をずっと習っていました。
大学は大阪音大音楽科を
卒業。両親の意向に沿い教
員採用試験に合格しました
が、自分の道は自分で決め
ると固い決意のもと、東
京へ出て営業主体のセール
ス会社へ就職。二十五歳位
まで「自分は一体何をした
かったのか?」「厳格な親か
ら逃れることばかり考えて
いたのではないかと、悩
み続けました。
「何かモノを作り出すこ
と、音楽をやってみよう!」
と、音楽をやってみよう!
と、阪神大震災や地下鉄サ
リン事件のあった平成七
年、会社を辞め、週一回、
東京芸大卒の二十三歳のコ
ーチについて、声楽のレッ
スを受け始め、東京芸大
に行きたいと真剣にチャレ
ンジを開始したので。
ところが何度挑戦しても
不合格。貯金も底をつき、

Joseph Roger O' Donnell (1922-2007) 撮影



この写真は、米国のジョ
ー・オダネル (Joseph
Roger O' Donnell、
1922 - 2007) という報
道写真家が、長崎の爆心地
で千九百四十五年(昭和二
十年)に撮影したものです。
写真の十歳くらいの少年
は幼子を背中に背負って、
ある重要な目的を持ってこ
の焼き場にきて、鎮魂を捧
げているのです。
背中の妹をおろして係員

焼き場に立つ少年

特に、米国の原爆投下
によって被害を受けた広島・
長崎の惨状は、想像を絶す
るものでした。
そして、日本各地を取材
して廻り、写真を撮り続け
ました。
そして、日本各地を取材
して廻り、写真を撮り続け
ました。
そして、日本各地を取材
して廻り、写真を撮り続け
ました。

工夫と思い入れ

将来に繋がる仕事を

以前、ある会合後の二次
会で、東証一部上場の有名
な会社の役員を長年にわた
って務められた方のお隣に
座る機会がありました。
教養溢れる興味深いお話
しに、時の経つのを忘れる
思いで過ごしました。
最後に、その方が、「し
っかりとした仕事をしてい
ますか?」と、私に対して
問いかけたので、緊張
で多少引きつった声で、「は
い、努力しています。」と、答
えたのです。
その方はニッコリと笑っ
て、次のように言葉を続け
られました。
「何の工夫も、何の思い
入れも無い、いわゆる機械
的な『マンネリ化した仕事』
は、その時は無難に通過す
るでしょうが、数年以上経
ち忘れた頃に、何らかの間
題が生じて来ることが多い
ものです。気持ちを込めた
仕事を目指すのは当たり前
ですが、同時に、これは将
来に繋がるのか?、という
熱い思いを込めた仕事をし
なくてはなりません。目の
前の仕事をただ単に無難に
こなすだけではダメです。
常に、五年後、十年後に耐
えられるのか、将来に繋がる
のか、心の中でイメージ
しながら工夫を考え、気持
ちを込めて、そのうえに、
少なからず余裕を持った仕
事をして行かなくてはね。」
と、鋭い眼光を私に向けら
れたのです。
その方の教養溢れる柔和
な顔つきから、仕事に対す
る思いを語る厳しい表情へ
の変化は、今もまだ、脳裏
に焼き付いています。
「朝、家を出る時、仏壇
に線香あげて、水取替えて、
ロウソク立てて、母ちゃん
とか、父ちゃんとか、師匠
とか、黒澤さんとか全部拝
むのね。俺が全部背負うつ
て、俺を使って、自分の夢
の出来なかつたことをやっ
てくれない。」(北野武)
人は誰かのために生きる
時、本気の力を出せます。

誰かのために生きる